

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせた作成も可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No.A-20

<p><b>部門名：</b>カリキュラム・マネジメント 実践部門</p>	<p><b>エントリー名：</b>愛知県立みあい特別支援学校 志賀則彦 平成30年度教職員等中央研修第2回校長研修</p>
<p><b>活動名：</b>学び続ける教員集団の育成 ESDとICT、そしてカリマネ</p>	
<p><b>解決すべき課題：</b>学校経営は、校長に与えられた最も大きな使命である。持続可能な社会の担い手を育成するためにカリキュラム・マネジメントを始め、学校組織の改革を進める必要がある。        中央研修において、学校教育の質を保証するために①学力の質②教員の質③経営の質の3つの側面を学んだ。「学力の質」は教育内容の改革(カリキュラム・マネジメント)で、「教員の質」は教員の指導力の改革で、「経営の質」は学校組織改革で実現が図られる。この実現に向けて具体的な課題を次のように設定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 達成すべき学校ビジョンを明確に設定する。</li> <li>(2) 学校ビジョンの共有化を図る。</li> <li>(3) 同僚性、協同性によるチーム学習を通してカリキュラム・マネジメントを実践する。</li> <li>(4) 対外的に発信する機会を設定し、自己評価、外部評価により教員のチーム効力感を高める。</li> </ol>	
<p><b>目標・方針：</b></p> <p>4月最初の職員会議において的確な現状分析に基づいた「学校ビジョン」を教職員に示し、ビジョンの共有化を図る。このビジョンの実現に向けて、組織学習としての校内研修を設計する。全員参画型の校内研修をとおり、カリキュラム・マネジメントを進め、教員の質の向上を図り、学校組織の改革に取り組む。</p>	
<p><b>活動内容：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回職員会議において「学校ビジョン」を示し、ビジョンの共有化を図りベクトル合わせを行った。(図1)</li> <li>・本校の特色である「ESD活動」と「ICT活用」を柱としたカリキュラム・マネジメントを実施することとした。</li> <li>・『ESDの視点で取り組む未来型ICT活用実践』をテーマとして校内研究を組織した。(図2)</li> <li>・チーム毎に研究を進めながら、校内発表で共有化を図り、全体として進むべき方向を調整した。</li> <li>・研究発表会を開き、学校の取組みを外部に向けて発信し、外部評価を含めた自己評価を行った。</li> </ul>	
<p><b>活動の成果：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ビジョンに基づく、本校の特色を生かした組織的な校内研究を推進することで、教科横断的なESDの視点での教育内容が整理され、PDCAサイクルに基づいた授業改善が実現された。</li> <li>・研究テーマの追究に向けて、全員が所属するいくつかのチームを組織することで、チームが連関して一つの目標に向かって取り組むことの有用性を実感することができた。(写真1)</li> <li>・研究発表会で、北は東北岩手から、南は九州宮崎からと全国から100名ほどの参加者を得て、その前で8チームのポスター発表をし、参加者から高評価を得たことで、職員のチーム効力感が高まった。とくに若年教員にとって大きな自信となった。(大変よかった37 よかった23 あまりよくなかった0 よくなかった0*参加者60名のアンケートより) (写真2) (グラフ1)</li> <li>・研究発表会を終えると、すぐ次年度の校内研究のテーマについての話し合いがなされ、「学び続ける教員集団」としての姿が顕現化した。</li> </ul>	
<p><b>アピールポイント(アイデアや工夫)：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ビジョンの設定前に、校長が全教職員と面談し、本校の強みや特色を把握した。</li> <li>・学校ビジョンを校長より示し、ビジョンの共有化を図った。これに基づき教員一人一人が目標を設定した。</li> <li>・組織的な校内研修を仕組み、全員参画型の研究に取り組んだ。</li> <li>・対外的に研究発表会を実施し、各チームが「ポスター発表」する機会を設定した。</li> <li>・外部の参加者の意見を教職員にフィードバックし、研究の成果を共有し組織(チーム)効力感を高めた。</li> </ul>	

図1：学校ビジョン2018



図2：研究組織

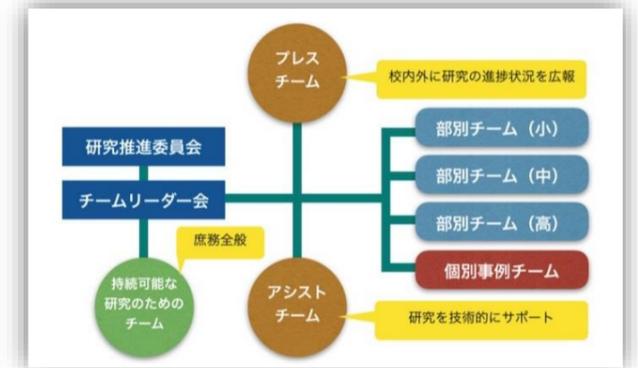
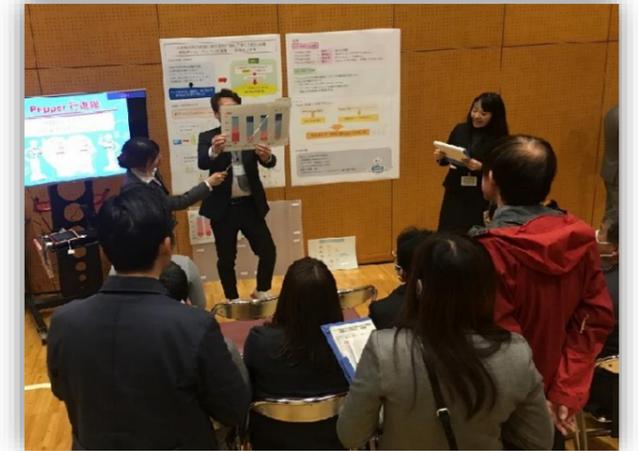


写真1：チームでの話し合い



写真2：ポスター発表の様子



グラフ1：研究発表会参加者のアンケートより

